

熊本市歯科医師会会誌

第 48 号



昭和58年度 熊本市歯科医師会通常総会
救急蘇生法 学術講演会

1984. 7

表紙の写真 “江津湖にて”

市広報委員 寺脇 博

目 次

昭和58年度、熊本市歯科医師会通常総会	2
学術講演会	大嶋 健一 6
合着用セメントについて考える	6
救急蘇生法	8
春季親睦旅行	厚生委員会 11
スタッフレベルアップ研修会	徳永 俊英 13
第33回、母と子のよい歯のコンクール	矢毛石 豊 16
昭和59年度、補助者講習会	藤波 剛 17
委員会紹介(医療管理委員会)	18
本日休診、私と野球	千場 正昭 21
勉強部屋	
My Case presentation	斉藤 朗 23
永久歯萌出期の咬合誘導	池上 富雄 26
第2回、日本接着歯学会に出席して	堀川 秀一 29
会員配置図(南部)	30
新樹会インプラント講習会	浜坂 浩 31
東部Ⅲ親睦旅行	添島 正和 31
新入会員紹介	33
会務報告	35
編集後記	

昭和58年度社団法人熊本市歯科医師会通常総会

昭和58年度、社団法人熊本市歯科医師会総会は、昭和59年3月22日(木)午後7時30分より熊本市歯科医師会館3Fホールで行われた。

開会、物故会員に対する黙祷に続き、川崎会長の挨拶、議長に林田充成先生を選出し総

会は進行された。

会務報告、会計報告、監査報告、代議員議長審議経過報告に続き議事がすべて承認されましたのでここに報告致します。

庶務報告

S59. 2. 29 現在

(1) 現在会員数	251名
一般会員	200名
親子会員	15名
終身会員	29名
勤務会員	3名
特別会員	4名

(2) 入会者名

柳本 泰孝	熊本市健軍町3862-4	東 部 4
鬼塚 友文	熊本市春日3丁目6-21	南 部
金田 哲也	熊本市竜田町上立田1-2	北 部 2
管 健一	熊本市長嶺町1737-12	東 部 3
岡本 英樹	熊本市高江町1250-23北口プラザ1F	川 尻
浮池 昌史	熊本市御幸笛田町字上塘添300-1	南 部
安田 直幸	飽託郡河内町船津字笹原1960-11	小 島

(3) 物故者

園田 守生	熊本市南熊本4丁目7番9号
緒方 義弘	熊本市手取本町7番2号
岡本 英樹	熊本市高江町1250-23北口プラザ1F

(4) 退会者

な し

昭和58年度熊本市歯科医師会歳入歳出現況

(歳入の部) 収入済額 29,086,431 支出済額 20,073,410 残 高 9,013,021

款	項	費 用	予 算 額	仕入済額	未 収 額	備 考
1		会 費	10,919,318	9,951,478	967,840	
1	1	均 等 割	2,399,000	2,448,000	△ 49,000	
2	2	保険診療負担金	8,520,318	7,503,478	1,016,840	診療報酬 ¹ ₁₀₀₀
3	3	入 会 金	別会計			7名入会 7,000,000
2		寄 付 金	1,000	0	1,000	
3		過年度会費				
4		雑 収 入	7,908,831	7,377,364	531,467	
1	1	預 金 利 子	419,445	309,484	109,961	2日決算利息 肥後 125,617 富士 13,350
2	2	雑 収 入	7,489,386	7,067,880	421,506	生命保険事務手数料など
5		前年度繰越金	10,498,561	11,757,589	△1,259,028	
		計	29,327,710	29,086,431	241,279	

☆保管区分☆ 肥後銀行 11,874,560 当座預金 887,608 預 り 金 652,488
〃 1,977,128 定期預金 34,597,978 有形固定資産 884,100

(歳出の部) 富士銀行 3,302,074 現 金 96,850 未 収 入 金 0

款	項	費 用	予 算 額	支出済額	予算残高	備 考
1		事 業 費	10,935,000	9,478,837	1,456,163	
1	1	学 術 費	2,118,000	1,711,891	406,109	講演会(5回) 1,373,291
2	2	口腔衛生費	1,188,000	1,062,160	125,840	フッ素塗布材料費 140,320
3	3	社会保険費	675,000	597,740	77,260	「社保だより」印刷 204,000
4	4	医療管理費	1,182,000	1,290,265	△108,265	講演会(2回) 468,525
5	5	広 報 費	2,000,000	1,544,973	455,027	「会誌」印刷代 1,160,000
6	6	厚 生 費	2,413,000	2,198,793	214,207	バレーボール大会 685,320 レクリエーション 272,590 新年パーティー 1,119,583
7	7	学校歯科費	859,000	695,015	163,985	講演会(1回) 207,650
8	8	各種委員会費	200,000	78,000	122,000	資格審議会 5回
9	9	医 政 費	300,000	300,000	0	市保健医療専門団体連合会 150,000 テクノポリス健康展分担金 150,000
2		事 務 費	7,894,320	6,888,603	1,005,717	
1	1	渉 外 費	810,000	402,260	407,740	
2	2	俸 給	2,124,000	1,828,500	295,500	
3	3	諸 給 与	1,388,320	1,310,092	78,228	夏・冬期ボーナス
4	4	旅 費	300,000	269,200	30,800	
5	5	需 用 費	1,500,000	1,402,361	97,639	郵送費・電話代・文具費
6	6	事 務 所 費	72,000	66,000	6,000	
7	7	備 品 費	200,000	0	200,000	
8	8	雑 費	1,500,000	1,610,190	△ 110,190	S57年度法人税1 193,950 税理士顧問料
3		会 議 費	4,192,800	3,064,070	1,128,730	タクシー代・理事会旅費
4		職員厚生費	733,493	641,900	91,593	
1	1	退職積立金	360,000	330,000	30,000	
2	2	職員厚生費	373,493	311,900	61,593	
5		予 備 費	5,572,097	0	5,572,097	
		計	29,327,710	20,073,410	9,254,300	



監 査 報 告 書

昭和57年度決算ならびに昭和58年度上半期
(S58. 8. 31現在)の監査を施行し、立派
に整理されていることを報告いたします。

昭和58年 9 月20日

監 事 山隈 龍祥

監 事 河野 好孝

監 査 報 告 書

昭和58年度下半期(S59. 2. 29現在)の監
査を施行し、立派に整理されていることを
報告いたします。

昭和59年 3 月 8 日

監 事 山隈 龍祥

監 事 河野 好孝

昭和59年度熊本市歯科医師会歳入歳出予算（案）

（歳入の部）

款	項	費 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較		備 考
					増	減	
1		会 費	10,299,179	10,919,318		620,139	一般 10,000×199 親子 5,000×15 勤務 5,000×3 終身 4,000×29 特別 50,000×4 診療報酬 1000
	1	均 等 割	2,396,000	2,399,000		3,000	
	2	保険診療負担金	7,903,179	8,520,318		617,139	
	3	入 会 金	別 途	会 計			
2		寄 付 金	1,000	1,000			
3		過年度会費	0	0			
4		雑 収 入	7,708,700	7,908,831		200,131	
	1	預 金 利 子	341,000	419,445		78,445	
	2	雑 入	7,367,700	7,489,386		121,686	
5		前年度繰越金	7,714,024	10,498,561		2,784,537	
		計	25,722,903	29,327,710		3,604,807	

（歳出の部）

款	項	費 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較		備 考
					増	減	
1		事 業 費	11,009,000	10,935,000	74,000		電話料・郵送料・文具 光熱水費・清掃料など
	1	学 術 費	2,200,000	2,118,000	82,000		
	2	口腔衛生費	1,074,000	1,188,000		114,000	
	3	社会保険費	675,000	675,000			
	4	医療管理費	1,200,000	1,182,000	18,000		
	5	広 報 費	2,100,000	2,000,000	100,000		
	6	厚 生 費	2,500,000	2,413,000	87,000		
	7	学校歯科費	760,000	859,000		99,000	
	8	各種委員会費	200,000	200,000			
	9	医 政 費	300,000	300,000			
2		事 務 費	8,140,320	7,894,320	246,000		法人税・税理士顧問料 タクシー代・理事会旅費
	1	渉 外 費	500,000	810,000		310,000	
	2	俸 給	2,152,800	2,124,000	28,800		
	3	諸 給 与	1,365,520	1,388,320		22,800	
	4	旅 費	300,000	300,000			
	5	需 用 費	1,500,000	1,500,000			
	6	事 務 所 費	522,000	72,000	450,000		
	7	備 品 費	100,000	200,000		100,000	
	8	雑 費	1,700,000	1,500,000	200,000		
3		会 議 費	3,877,000	4,192,800		315,800	
4		職員厚生費	763,586	733,493	30,093		
	1	退職積立金	360,000	360,000			
	2	厚 生 費	403,586	373,493	30,093		
5		予 備 費	1,932,997	5,572,097		3,639,100	
		計	25,722,903	29,327,710		3,604,807	

学 術 講 演 会

合着用セメントについて考える

大 嶋 健 一

講 師 長谷川 二 郎 先生

日 時 昭和59年 3 月 2 日 PM 7 : 00 ~

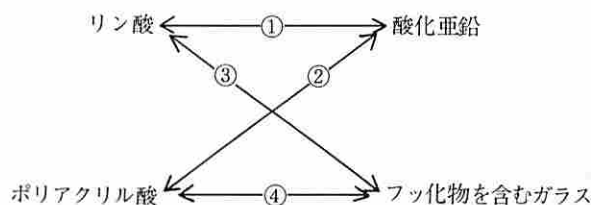
場 所 歯 科 医 師 会 館 3 F



最近歯科に於ける接着材の開発・改良は目ざましく、用法・技法の研究開発が進められ僅かではあるが接着力を有するセメントが開発されている。

今回の講演では主として歯冠修復物の合着用セメントについての解説であった。

合着用セメントの成分は次の4つであるが



この混合のし方で次の4つの代表的なセメントが作られる。

- ① リン酸亜鉛セメント
- ② カルボン酸セメント

③ ケイ酸セメント

④ グラスアイオノマーセメント

§ 市販品選択の基準

1. 硬化時間

どのメーカーでもあまり変るものではない。ここで注意しなければならないのは、硬化時間を遅延させるために極端に練和時間を延長させたり、液量をふやしたりすることは性質を劣化させることになる。

2. 崩壊率

これはセメントの合着力、耐久性にとって最も重要なもので、リン酸亜鉛セメントとカルボキシレートセメントでは同程度の崩壊率であるが、後者は吸水性の点で劣る。リン酸亜鉛セメント製品間で



は差はないが、ただHY剤が添加された松風ハイボンドはやや劣り、この様にリン酸亜鉛セメントに少量の薬剤を添加しても耐久性が劣化する傾向にある。パラホルム含有のセメントもその好例である。とにかくリン酸亜鉛セメントは混ぜものを嫌います。

3. 被膜厚さ

これは修復物の合着に最も重要なことである。適合性の良い程、被膜の厚さの小さいセメントが要望される。しかし、リン酸亜鉛セメントの合着力がパテの効果と嵌合力に頼っているため被膜の厚さが極端にうすくなれば合着力に悪影響を及ぼし、ここにリン酸亜鉛セメントの合着力の限界がある。

4. 圧縮強さ

前述の被膜の厚さとの関連において考えなければならないが強さは大きい程度に、カルボキシレートセメントが合着力があるにもかかわらず、リン酸亜鉛セメントに比べ合着力に信頼性がないのは圧縮強さが小さいためである。

5. 接着強さ

リン酸亜鉛セメントでは接着力はないが、カルボキシレートセメント、ガラスアイオノマーセメントは僅かではあるが接着力を持っているが、吸水性が大きいという欠点はまぬがれない。

結論として、とにかく現時点ではリン酸亜鉛セメントはすてがたいものである。接着力



がないという点では全く劣るのであるが、他の諸性質から言えば現時点では無難な合着材料である。

適合性の劣る修復物をカルボキシレートセメント、ガラスアイオノマーセメントで装着すれば、吸水性が大きい時間経過と共に合着力が低下してゆくのは注意を要することである。

これからの接着材料はどうあるべきか？を考える上で次の事柄をふまえて考えなければならない。

○接着に影響を及ぼす因子

(一次的)		(二次的)	
接着材	接着力	接着材	熱膨張係数
	流動性		吸水性
	ぬれ性		溶解性(崩壊性)
	硬化時収縮		降伏強さ

被接着体の表面の状態

{	表面のあらさ
	湿度
	温度
	よごれ

救 急 蘇 生 法

大 嶋 健 一

5月26日午後2時30分より、熊本県歯科医師会館3階ホールにおいて、佐賀医科大学歯科口腔外科教授香月武先生をお招きして救急蘇生法の講演と実習が行われました。当日はドクター80名に加え、各医院のアシスタント150名という多数の参加者がありました。

講演の後、1. 救急蘇生法のビデオ、2. 人形を使った救急蘇生、3. 血圧測定、血管確保を各医院ごとに分かれて実習を行いました。

今回は、参加された先生の層が広く、年配の先生方は、血圧測定では、御自分の血圧測



定をくりかえしなさって心配なさったり、安心なさったりという場面もありました。

各実習は和やかな雰囲気で行いましたが、万が一実際に対面した救急蘇生の場においては、多分気も動転し殺伐として、大変緊張したなかで、迅速に又かつ正確に行われなければならない事なので、各医院における定期的な訓練が必要かと思われます。その為にも、どうかもう一度今回の講演抄録を読み直して下さい。又お手元に講演抄録が無い方は会の方に若干部数保管してありますのでお申し出下さい。



救急看護法の講習会に参加して

田 添 美 紀

救急を要する患者に出会った時に、ドクターの補助者として、適切な処置をし、生命を維持することが、私たち医療に従事する者の役目ですが、学生時代に習った、人工呼吸についての知識や実技では、忘れかけている部

分が多く、万一必要な時に、すぐ行動にうつせるほど自分自身のものになっていなかったと思います。私自身、救急看護法については学生時代に比べて、臨床にでてからの方が、必要性を身近により多く感じるため、今回の



実技をうける時にも、以前と比べて自分自身、真剣に取り組めたと思いました。そして、今回の人工呼吸の実技で、忘れかけていた手順やコツをくり返し教えていただいて、人工呼吸についての基礎となる知識を、より一層深められたと思います。

幸いにも、今まで臨床で人工呼吸を要するような患者には出会わずにすみましたが、これから、いかなる場所や理由で、そういう場面に出会うかわかりません。万一出会ったとしても、今回の講習会で得たものを活用しできる限り冷静になって、善処したいと思っています。

今回の講習会で、実技においては満足のいくものでしたが、講義では最初予定されていた時間より大幅に短縮されて、最も大事な救急処置、救急看護について、大ざっぱな説明しかきけずに非常に残念でした。講義と実技の両面が満足のいくものであったら、より一層得るものも大きかったと思いました。テキストについてですが、もう少し記入してある事項が多ければ、今回の様に省かれたりする内容の事でも、多少読んで知識として得られたと思いました。

次回、また開かれる時は、実技の復習と今

回の講義でできなかった点を学んで、救急看護法について、自分なりの自信を身につけていきたいと思いました。

中 尾 雪 美

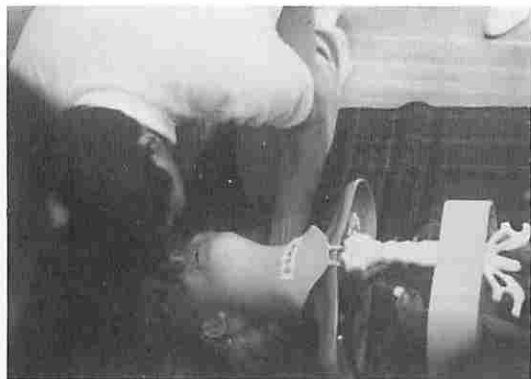
昨年、救急蘇生法を受講していましたので、一通りの事は理解しているつもりでしたが、小さな事は、少しずつ忘れてしまっていて、今回また受講し、再確認できたような気がします。診療中、また、日常生活で体験することは、それ程多くありませんので、自分自身身につくには、自分なりに、よく復習しておかないと実践できませんし、人工呼吸や心マッサージ等は特にそう思いました。頭では理解していても、いざ行動に移すということは難しいことです。しかし、せっかく実技を行った以上、行動できるようスタッフ同志で時々練習していこうと思っています。

また、これらの事は、多勢の人々が知っておくべき事だと思います。何故なら、人工呼吸一つにしても、そう一人で長くできるものではありません。行う方も体力を使うし、他のバイタルサインをとったり、心臓停止でもあれば、心マッサージをというふうに、一人



ではとても無理だと思います。もし、事故がおこった時、たくさんの方々が協力してやれば、一人の負担も軽くすみ、危い人の命も、助かるのではないかと思います。今回の救急蘇生法には、多くの方々が受講されていましたので、とてもたのもしく思い、また、このような方々が、どんどん増える事を期待しています。自分から進んでするということは、とても勇気のいることです。ましては、実際に人が倒れていた場合、勇気以上のものがあると思います。しかし、実際に行う事は、まだまだ不安ですが、いかに対処すべきか、どのような手順で行うか、などは理解できたつもりです。今回は、昨年に増して、血管確保、血圧測定のコーナーも設けてあり、とてもためになりました。歯科では、あまりタッチすることができない、点滴の介助だったと思いますが、みなさん協力的で、よかったと思います。次回からは、多くのコーナーを設け、より多くの方々が、受講されることを、期待しています。

最後に、企画していただきました、先生方又、衛生士の方々、たいへんお世話になりました。さっそく、明日からの診療に役立てていきたいと思っています。



西 田 佳 代

この日の講習会は、学生時代に習った授業の内容が集約されているようで、忘れそうになっていた記憶が甦ってきました。

人工呼吸（マウス＝トゥ＝マウス）の実習では、とても緊張してしまい、気道確保と、口の横からの息もれに注意し、しっかりと口をつけ、5秒に1回のタイミングで850mlの呼吸を吹き込まなければならない、頭の中ではよくわかっていることでも、かなりの肺活量が要求される重労働で、なかなか850mlの呼吸を示すランプがつかず苦勞をしました。

血圧測定の実習では、回りが騒々しかった為か、脈の音がどこから聞こえ始めて、どこで終わったのかがよくわからずに、あまり体得できませんでした。

もう少し静かで、時間がもう少しあったなら、講習内容がよく理解できたのではないかと思います。これから診療室の中で救急看護法を必要とする時があるかもしれません。1年に1度でも、こうした講習会を続けて頂きたいと思っています。

春季親睦旅行（南阿蘇高原）

春の芽ぐみの中で!!

昭和59年5月13日（日）、南阿蘇の久木野及び高森において、例年の秋季から春季に時期を変えて、熊本市歯科医師会親睦旅行が行なわれました。今回は、普段仕事が忙しくプライベートな時間が取れない先生方の為、家族・従業員への感謝と慰労を兼ね、親睦を深めていただくということで久木野高原の新緑の中での「わらび狩り」「阿蘇国民休暇村」でのレクリエーション、更には高森「田楽の里」での高原の味賞味を企画しましたが、時季的な変更や、各種スケジュール雑多な折にもかかわらず、会員、家族、従業員を含む80余名と予想外の多勢の参加者がありました。

午前8時50分に熊本市民会館前に集合し、午前9時にバス2台で南阿蘇へ出発しました。

当日は、暖春のうららかな日ざしの中で、高原の新緑香る新鮮な空気がバスいっぱいに充ちてくる中、車中では、若いガイド嬢とのクイズ遊び有り、またカラオケ大会有りで、

本当にうち溶けた団欒のムードでした。

1時間半で目的地の南阿蘇に到着し、久木野高原では、若草の輝きと新緑の香りの中で、それぞれにわらびやその他の山菜の若芽を摘み、また国民休暇村ではテニスコートや宿泊施設、キャンプ場等が完備されており、その中では、子供さん達が、生き生きとしてアスレチックやサイクリングを楽しんでいました。

そうこうしているうちに昼食の時間となり再びバスで高森の「田楽の里」へと向かいました。そこでは、南阿蘇の野趣味溢れる名物、「タカ菜めし」、や「ダゴ汁」、「みそ田楽」等の高原料理をアルコールも混じえて、うち溶けた団欒の中で心ゆくまで賞味して楽しい昼食時間を過ごし帰りの時となりました。

満足そうな顔でバスに乗り込み、大きなびきも聞こえる中、午後4時には無事交通センター到着解散し有意義な1日を過ごすことができました。 〈市厚生委員会〉





スタッフレベルアップ研修会

昭和59年 5 月12日 (土)

医療管理委員会 徳 永 俊 英



今年3月に新しく採用されたスタッフの教育並びに、既存スタッフの再教育を目的として、5月12日土曜日の午後2時半より、県立図書館大ホールで、昨年同様、博多のキャリア開発研究所所長の荒川寿子先生を講師としてお招きし、2時間にわたり、講演して頂きました。話しは、先ず、昨年と同様に「ハイッニコッ、スッ、」から始まりました。これは、ドクターから、何か頼まれたら、返事を大きな声ではっきりする。又、その時の表情は笑顔で、素早く行動に移すという事です。院長とスタッフのコミュニケーションは、先ずこれから始まるという訳です。それから患者の心の満足への対応として、各患者に対して、平等に接するという事が大切です。ある患者に対しては、親切に色々指導し、一方の患者に対しては、何の説明もしないでは、説明を受けない患者に不満が生じます。院長先生が時間の都合で、患者に説明できない時は、

スタッフが代わりに説明をするという事が必要です。又、患者の横で何か失敗した時「あっ！しまった」とか「失敗しちゃった！」という言葉は絶対に出さない様にする。こういう言動は、患者の心を不安にし、次回からは、来院しなくなるかも知れないのです。又、患者の前で院長先生に話したらまずい内容の時は、メモ用紙に書いてソッとわたすという配慮が必要です。

次に仕事の Q u p、人間の Q u p という話に移りました。この Q u p というのはクオリティーアップという事で、すなわち質の向上を意味します。昨年よりも今年、昨日よりも今日と、次第にスタッフの質の向上を目指します。これは、仕事の内容面だけでなく、スタッフ自身の質の向上も行なう訳です。先ず仕事の内容では、セメント練りや印象で失敗しない、又、物を床に落とさないなどの心づもりが必要で、失敗したら、時間及び、物の損失になる。すなわち、給料をもらっているながら医院に対して、損害を与えているという認識を持つ事が必要であるという事です。それから、言われた事だけでなく、言われる前に気付いて行なう。いろいろな診療補助の時間の短縮に努力して、仕事の質の向上と能率をはかる。又、人間の Q u p では、医院は、

一つの小さな社会集団なので、自己主張や、自分の都合ばかり言わないで、他のスタッフの人達との協調をはかり、和の精神でやっていく事が必要で、昨年よりも今年と、自己の研鑽に努める様に、又、内気な人は積極的な性格に変わる様に自分で努力する事が必要です。

次にスタッフの役割について、話しがありました。これは、補助から補佐へ移行させるという事で、補助の場合は、院長先生から言われた事のみを行う訳ですが、補佐になると、その時の状況判断を行ない、言われなくとも、正確に自分の考えで、行動する、又いろいろな応用、工夫を自分で行ない、能率良く仕事を行なうという事です。常にスタッフが頭を使って、行動する様に仕向ける事が必要です。新人スタッフについては、先ず服装髪形、動作それから言葉使いなどについて話されました。常に清潔な服装、髪形で、言葉使いも、診療室での院長先生に対する言葉使いはもちろんの事、スタッフ間での言葉使いも、スタッフルームでの会話とは、当然違って来るはずで、馴れ馴れしい言葉使いにならない様に注意する。又、先生や先輩、患者さんに対しては、敬語を使用する。一日も早く環境に馴れる様に努力するという事です。



そして、ある医院での小集団活動について、話されました。以前は、院長とスタッフ間でのコミュニケーションもあまりなく、又、スタッフ間でもあまり、深刻な話しはしなかったのですが、これではいけないという事で朝は朝礼を行ない、夜は診療後反省会を行なった結果、以前は、仕事をする時、使われているという感じがあったのですが、今では、皆の医院だという感じで全て話し合いで、仕事の分担などを決め、自分達で働きやすい職場に変えていき、各スタッフは、以前より忙しくなったけれど、ずっと職場が楽しくなったという話でした。もちろん患者さんにもその医院の雰囲気が大きく変わった事に、すぐ気付かれたそうです。やはりやる気をおこさせる職場作りが必要であると痛感した次第です。そして、毎日が単調にならない様に、常に、何か新しい事や、知的刺激の為に、スタッフを交代でセミナーに出席させるなどの院長先生御自身の配慮が必要だなと感じました。

それからスタッフルームの壁などに張って、常に皆が心がける事項について話されました。

1. お早よう御座いますというあいさつの言葉。
2. ハイという素直な心。
3. ありがとうという感謝の心。



4. 私がしますという積極的な心。

5. お陰様でという謙虚な心。

6. すみませんという反省の心。

最後に、「人に好かれる10ヶ条」について話されましたので、列挙します。

1. 誠意

2. 明るさ（笑顔で返事、あいさつをする。）

3. 何事にも関心を持つ。

4. 相手を尊重し、理解する。

5. 人を傷つけない、無視しない。

6. 協調性を持つ。

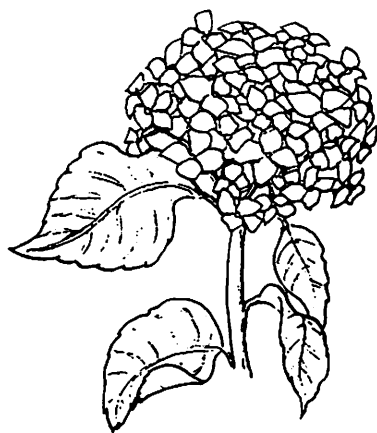
7. けじめをつける。節度を持って接する。

8. 感謝の表現を忘れない。

9. 聞き上手になる。

10. 自主性をもつ。（言われなくとも気付いて、さっと行動する。）

受講者は、約300名で、講演の終わりまで一人も席を立つ者もなく、皆熱心に聞き入りました。講演の後、質疑応答が行なわれましたがその時スタッフの人達からの訴えが多かったのが、院長先生の声が聞こえなくて何をしようやら判からない時があるという事でした。先生方も、診療に忙しく、又、患者が多くて、イラタされている時、そこまで気が回らないという時もありでしょうが、スタッフによく聞こえる声で指示されます様にこの紙上をお借りしまして、宜しく願い申し上げます。



昭和59年度第33回 母と子のよい歯のコンクール

矢毛石 豊



昭和59年5月26日、熊本保健所において、熊本市歯科医師会主催の「母と子のよい歯のコンクール」が行なわれた。出場者は熊本市内の各保健所において3歳児検診の際、口腔内の健康状態及び発育状態の優良な20組が選出され、コンクールが行なわれた。検査は、熊本市歯科医師会の口腔衛生委員と、今年熊本保健所に着任された吉良先生を含め5名により、歯牙、歯列、咬合、歯肉、歯口清掃などの状態を区分し、減点法にて行なった。1組をそれぞれ5名で評価し、厳正な診査の結果、優秀賞2組、優良賞4組が選出された。



優秀賞 溝上紀美子・広樹

優秀賞 佐々木啓子・由香

今年のコンクールも例年のごとく母親の歯牙の状態により左右される状態となったが母親の子供への指導は評価したい。三歳になれば乳歯列も完成し精神的にも発育して人間らしくなってくる時期である。自分から歯をみがこうとする気持ちをもてる子供に育てるために母親はかなりの忍耐がいるようである。

引き続き川崎会長の挨拶の後、表彰式が行なわれ終了した。関係者の方々の御協力に心より感謝致します。



昭和59年度 補助者講習会開催

学術委員会 藤 波 剛

4月8日、15日の2回にわたって、主に新入のスタッフを対象とした講習会が、今年も県歯科医師会館において開催されました。

第1回、2回ともそれぞれ40名弱の衛生士、補助者の参加のもと、G・Cの研修スタッフの指導で、医院での診療補助業務の最も基本となる、各種印象材、セメント類、練性充填物について勉強した。

午前中は、それぞれについての性質や使用方法についての講義。

午後は、実際に練り方等の実習が行なわれ

た。近年、特に印象材、合着材、練性充填物については、次々に新製品が開発されており、各医院でも、それらを使いこなすには、実際にそれらのものを練る補助者が、知識をもち使いこなせることが必要である。

その点から、当を得た講習会であったと思われます。

当日は、参加者全員に、各医院名と氏名を書いた名札をつけてもらったためかどうか？丸1日、勉強にはげんでいたようでした。

＜お 知 ら せ＞

第8回熊本市歯科医師会 バレーボール大会

日時： 7月15日（日）

場所： 東海第2高校総合体育館

※応援の奥様方のビーチバレー、子供さん達のアトラクション等も予定しており、参加賞も多数用意してありますので、振って御参加下さい。



— 委 員 会 紹 介 —

医療管理委員会



担当理事

牧野敬美

委員会活動も三年目を迎えることになりました。当委員会の行事に対しまして会員諸先生方の御協力心より感謝申し上げます。

主な行事は一年目、熊本市歯科医業経営実態調査報告、二年目スタッフ研修セミナー、歯科医院経営講演会、医療管理カレンダー作製、医療事務の手引作製、税務説明会等を行

い、今年任期最後の三年目は昨年大好評を得ましたスタッフ研修セミナーのレベルアップ研修を終え次の行事の準備を進めているところです。

諸先生方も御存じのように最近ここ数年、医師・歯科医師の脱税問題、医院の倒産・不正請求、歯科医師国家試験問題漏えい、偽合金不正使用等歯科医師のイメージを悪化させるような記事が社会問題となり、又行財政改革に伴う医療費抑制政策、歯科医師過剰時代という歯科界には非常に厳しい現状になっていると思います。先生方も自分の歯科医院の健全経営に努められ、一段と磨きをかけられ

ていることと思います。当委員会におきましても非常に微力ではありますが、少しでもお役に立てばと各委員努力致しております。どうか今後とも会員の諸先生方には医療管理委員会に対する御意見・御教示の程よろしくお願い致します。



千場 正昭

この歯科界の厳しい現況を考えると、各個人の歯科医院、又、歯科医師会全体としての医療管理を充実させることが、いかに重要であるか、委員会に入って切実に考えるようになりました。一年間の委員会の活動としては医院経営の講習会、税務説明会、スタッフ研修会、小冊子作成等、行ってきましたが、そのすべてが自分の勉強になることばかりでした。牧野理事を筆頭に、委員会のメンバーもチームワークよく、楽しくやっています。これからも、諸先生方の御指導により、残り一年間頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いします。



永野 秀雄

今まで、私にとって、労務・税務関係などは、あまり興味のある分野ではありませんで

した。しかし、医療費の伸びが、ほとんど期待できなくなった今日、無駄をなくす事が重要ではないかと思うようになり、少し見直してみようかという気持ちに変わってきました。

これからも、医院経営に少しでも役立つようにと色々な事を勉強してゆこうと思っています。

牧野理事を始め、各委員の先生方、これからも、どうぞよろしくお願いします。



徳永 俊英

医療管理委員に任命され早2年が過ぎました。この2年で一番思い出深いのは、最初に行なった「歯科医業経営実態調査報告」です。流動する現在の医業環境に於いて誠に時宜を得た調査であったと牧野理事以下一同、自負しております。国内情勢や社会経済に影響され変化していく事柄は、医業経営のみならず、各委員会で委員は変わっても、申し送り事項にして、5年10年間隔で、調査を行ない歯科医師会の為にそのデータを蓄積していく必要があると考えます。



河野 哲朗

初めて委員会に属し早や2年が経ちました。

これまでわからない事ばかりで、同委員会又会員の諸先生方に御迷惑を多分にかけた事を申し訳ないと思っています。しかし自分なりには頑張ってきたつもりです。これからも微力ではありますが、牧野理事の概念である“会員のためになにかを”をモットウに精一杯やっていきたいと思います。諸先生方の尚一層の御指導・御協力をお願い致します。



小田 和人

医療管理委員に委嘱されて、早いもので2年が過ぎました。最初の一年は医業経営の実態調査を行い、その結果を小冊子にまとめ、又昨年は診療の手引き書を作り上げました。僅かな枚数の冊子でも、それをまとめ上げるまでは大変な作業で、一月に数回集まって皆で検討しましたが、出来上がったものを手にした時の喜びはまた格別です。最後の一年も残り数ヶ月となりましたが、心新たに頑張っていきたいと思っています。



久保田晴一

委員の任期が残り1年になろうとしております。開業当初は税務、労務等のことは全て父にまかせきりできていましたが、いよいよ

何でも自分自身でやらなければいけなくなつたとき、医療管理での勉強は非常に役立ちました。

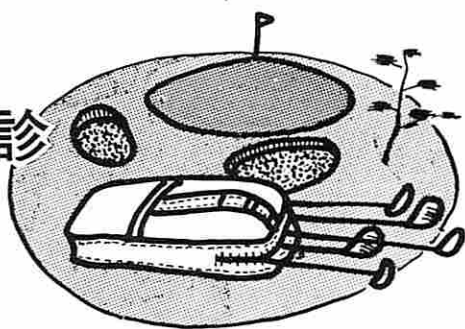
これらの情報を会員の先生方にも少しでも多くお知らせできたらと思っています。残りの1年間が有意義なものになって欲しいものです。今後ともよろしくお願い致します。



友枝 和夫

医療管理委員に任命され2年間が過ぎ、微力ながら歯科医師会の仕事をやっておりますが、医療事務の手引、スタッフレベルアップ講習、歯科医院の所得給料関係の統計書、少しでも皆様のお役に立てたかなと思っています。この委員会は守備範囲が広く、医院経営にはとても大事な内容ばかりなので自分自身にもとてもプラスになる面がたくさんあります。残り1年足らずもち前のチームワークでやって行きますが皆様も御協力又、御意見を宣しくお願い致します。

本日休診



私と野球

千場正昭

私と野球の出会いは、大学入学と同時に始まる。以来、大学野球部6年、歯科医師会野球部14年、計20年間、野球を楽しみ、なお現在も現役として頑張っている。なぜ、色々あるスポーツの中から、野球を選んだかという、やはり、小さい頃から、一度あのユニホームを着てみたいという単純な気持ちと、野球だけでなく、他の屋外スポーツでも、同じようにスパイクで芝や土を踏んだあの感触を味わいたかったからである。

21年間も野球をやっていると、年令に応じて野球に対する考え方が変わっていくのに気づく。20才代から30才代の前半までは、とにかく「ヒットを打って、試合に勝ちたい…。」この一念である。しかし、30才代の後半から少しずつ、自分の健康法として野球をやることを考え始める。30才代の後半になると、20才代とはまったく違った感覚で物事を捉えるようになるものである。自分の健康のことについて考え始めるのも、40才代が近づいたせいかもしれない。家族があり、従業員があり自分一人の身体でないことに気づく。プロ野



球の選手もやはり、40才が限界である。長島や王という天才選手も、この壁が破れず現役選手を引退した。40才に近づくとやはり、自分自身に合った健康法というものを考えないといけないのかもしれない。

最近、私自身にとって、一番の健康法といえるのは、「早起き野球」である。又、それは健康法と同時に、私の「好きな試合」の一つでもある。我々、歯科医師会のチームは全員試合の前日、球場に近いホテルに宿泊する。17名の選手は、朝5時20分に全員起床、6時30分からの試合にそなえる。勿論、プロ野球



歯 科 医 師 会 野 球 部

のような華やかさはない。しかし、グラウンドにいれば、仕事のこと、世の中の様々なストレスから解放され、全てを忘れて、その白球に自分の全てをかけるのである。その気持はプロ野球も草野球も変わらないような気がする。そこに、チームワークが生まれ、団結力・信頼感が生まれる。その時、自分自身は、青春時代に戻ったような錯覚におちいる。とてもさわやかな気分になる。これからも、このさわやかな気分が持ち続けられるように、体力の続く限り、健康法の一つとして、野球をやっていこうと思っている。

我々、歯科医師会野球部は、23名の部員と多数のOBの諸先生方で構成されている。月2回の練習と、月1回の例会を催し、福岡監督を中心に、練習に試合に頑張っている。年間のスケジュールは、秋の「九州大会」(各県対抗)、春の「朝起き野球」、福岡南チーム、久留米チーム、又、技萌会との定期戦が主な試合である。今年は、筑豊地区の歯科医師会のチームとの親善試合も企画されている。

久留米チームとは、試合後、必らず懇親会をもち、野球・仕事・ゴルフのことと、話はずむ。去年は、原鶴温泉に於て、試合後

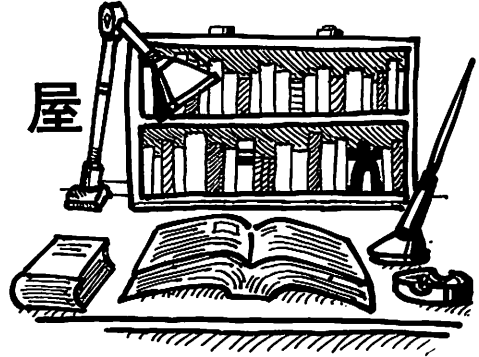
両チームの選手全員で同じ屋形船に乗り、鶴飼見物に出かけた。非常に楽しい思い出の一核(とき)であった。これからも、宮崎・長崎・鹿児島等の歯科医師会のチームとの親善試合を企画し、野球を通じての交流を深めたいと考えている。野球をすることによって、多くの先輩を知り、多くの友人を得、又、楽しい思い出をつくることができることを、幸せなことだと思っている。

現在、我野球部は、今秋の九州大会にそなえ、猛練習を行っているが、今春には有望な新入部員3人が入部し、その中には、九州歯科大学野球部のエースであった若手のホープ山本投手も含まれ、今秋の九州大会(於福岡)で、悲願の「初優勝を…」と、全員燃えに燃えている。今年は、必らず期待にこたえられるよう頑張りたいと思います。会員の皆様の温かい御声援よろしく申し上げます。



九 州 大 会 (対宮崎戦)

勉強部屋



My Case Presentation

斉 藤 朗

7 6 5 | 4 6 欠損を改良型 Hart Dunn アタッチメントを利用したパーシャルデンチャーで設計した症例

ているが義歯の違和感と咀嚼痛に悩んでいた。

症例の概要

患者：昭和3年生 56才 女性

主訴：咀嚼・審美障害、開口時の左側クリック音の解消、3 2 1 | 1 2 3 歯肉発赤の治療、

初診：昭和58年9月17日

現症：3 2 1 | 1 2 には開面金冠が装着しており $P_2 \sim P_3$ の状態である。

5 | 5 7 は欠損であるが 5 | 5 部の空隙はほとんど無い。

3 4 5 6 7 のブリッジは適合が悪く、 P_1 の状態である。

4 | は残根状態であるが、根充済で根尖病巣もなく臨床的症状は無い。

既往歴：この30年間歯科医院に通い続け

設計の根拠

患者は装着感が良く、硬い食物が咬める義歯を望んでいたため、左側中間欠損を右側遊離端義歯の維持に利用したパーシャルデンチャーの設計を考えた。幸いこの患者の 3 5 7 は骨植健固であったので左側は 3 4 5 6 7 のブリッジで補綴し 6 部ポンティックを利用したアタッチメントデンチャーで 7 6 5 の補綴を行なった。

治療方針

1. 3 2 1 | 1 2 2 ブリッジ除去後 1 の抜歯
2.

<u>7 6 4 3 1</u>		<u>2 3 4 6</u>	
<u>4 3 2 1</u>		<u>1 2 3 5 7</u>	の Perio
3. 4 3 1 | 2 3 の Endo 処置。
4. 4 3 2 1 | 1 2 3 テンポラリーレストレーション。 ☒ - 1



図 1

- 5, バイトプレート作製により2mm程度の咬合挙上。 図-2・3



図 2



図 3

- 6, 咬合の安定を確認後、③④⑤⑥⑦ブリッジ除去し、2mmの咬合挙上を保ったまま③④⑤⑥⑦テンポラリーブリッジ作製。
- 7, 改良型 Hart Duun アタッチメントのフィメールを⑥ボンテックに形成した③④⑤⑥⑦ブリッジを作製し

③④に硬質レジン前装。 図-4



図 4

- 8, ③CK除去後④にメタルコアを植立して④③連結のメタルボンドポーセレン作製、④にI-bar 用近心レストを付与。
- 9, 下顎咬合平面に合わせて④③①①①
②③メタルボンドポーセレンブリッジ作製。 図-5



図 5

- 10, ⑦⑥パーシャルデンチャーの作製。

図-6,7,8,9,10



図 6



図 7

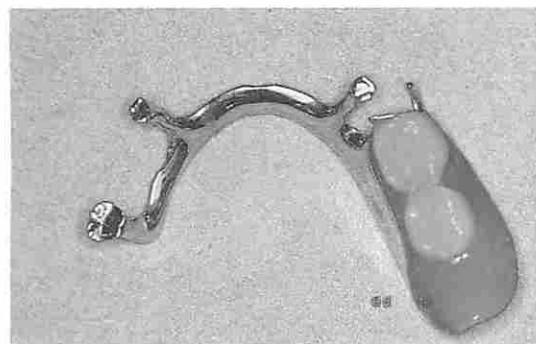


図 8

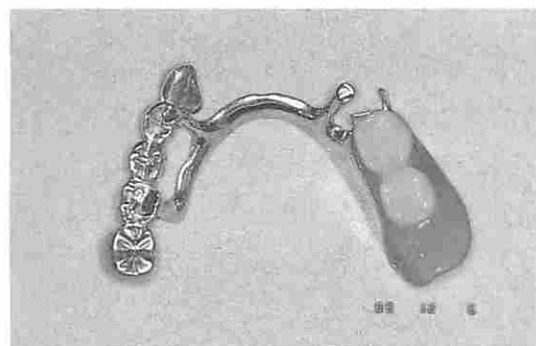


図 9

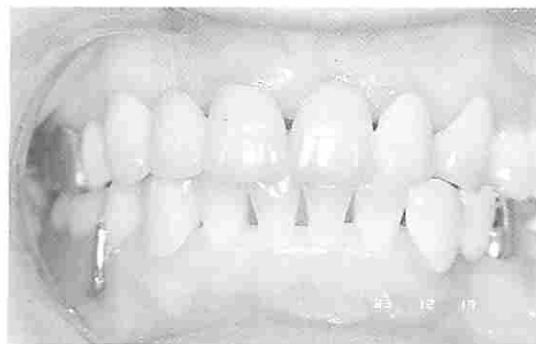


図 10

考 察

版側性遊離端義歯では、その維持安定のため反対側の中間欠損はブリッジにしないで、両側性の義歯とするほうが良いという意見もあるが、咀嚼・審美性はもちろんのこと、維持安定が良ければ、このようなアタッチメントを利用した補綴処置も現代的な良い治療法だと思われる。実際この患者は
 ③④⑤⑥⑦ブリッジより⑦⑥義歯のほうが良く咬めると言っており、思っていた以上に改良型 Hart Dunn アタッチメントの利用価値は高いと思われる。

参考文献

歯界展望：第61巻第4号

昭和58年4月

P 687～P 696

改良型 Hart Dunn アタッチメント臨床への応用
 (上)

—構造と臨床応用—

歯界展望：第61巻第5号

昭和58年5月

P 941～P 952

改良型 Hart Dunn アタッチメントの臨床への応用
 (下)

—パーシャルデンチャ
 ーの臨床例—

永久歯萌出期の咬合誘導

池 上 富 雄

—抜くべきか、抜かざるべきか—

乳歯が、その役目を終え、永久歯と交換する時期は、顎骨内で永久歯根が形成されると同時に乳歯根は、吸収されており、又、顎骨自体の大きさも新しい永久歯列に対応出来る様、種々の成長変化を繰り返している非常にダイナミックな時期といえる。この時期をスムーズに経過すれば全ての個体は、その個体のもつ最適の咬合状態（個性正常咬合）に達する筈であるが、ちょっとした事がきっかけでこの正常な交換の軌道から逸脱してしまうケースが、ままある。咬合誘導とは、本来あるべき軌道から何らかの理由で、それてしまった乳歯と永久歯の交換現象を、個性正常咬合へ、人為的手段を用いて導いてやる事であろう。これは、別段難しい事ではなく、先天的な異常（発育異常、先欠、過剰歯、奇型歯等）や、環境の変化による必然的变化（軟らかい食物を食べる様になった為の顎の発育不良によるデイスクレパンシーの増加等）をコントロールする事は出来ないとしても、我々歯科医が多少の注意と手助けをする事により多に貢献出来るだろうと考えている。

“Prevention outdoes treatment”（予防に勝る治療なし）という言葉は不正咬合においてもまたしかりである。以下いくつか身近な例をあげてみたい。



図 1

図1（9才女子）は乳歯のウ蝕による後継永久歯の異所萌出の典型的な例である。この様になった乳歯を保存する意味は全くなく、すぐに抜去すれば4|は、ある程度正常な位置に移動して萌出を完了する。又、このような場合の萌出のスピードは非常に早い為、54|のスペースを保持する必要は殆どない。但し、5|の顎骨内の位置によっては舌側弧線装置等により6|の近心傾斜を防がねばならないかも知れない。

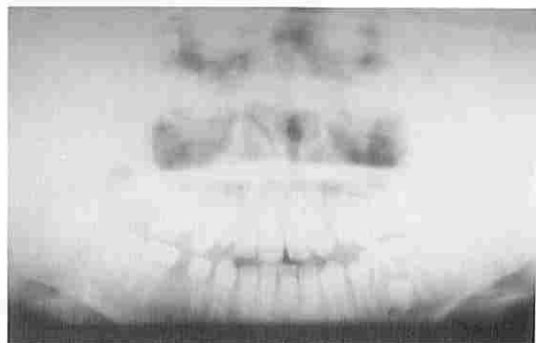


図 2

図2（10才男子）の場合は、判断に多少迷うかも知れない。反対側の5|が萌出していれば

問題なく $\overline{E}$ を抜歯すれば良いが、残念ながら見当たらない。しかし、全体的な萌出の程度 ($\underline{5}$ $\underline{5}$ は萌出しており $\overline{7}$ $\overline{7}$ もかなり高位にある。) 及び $\overline{5}$ の歯根形成の状態、変位の程度からして、やはり $\overline{E}$ は抜去されるべきであろう。このまま放置しておけば $\overline{7}$ の萌出が先行し、 $\overline{6}$ が近心へ押され、 $\overline{5}$ の萌出スペースが危うくなる。ちなみに $\overline{5}$ は 90° 回転している様だ。これも $\overline{E}$ の歯根の吸収が正常に行われなかった為かも知れない。



図 3

図3 (7才男子) も同様に乳歯根の吸収が、正常に行われなかった為の $\underline{1}$ の異所萌出と思われる。これなどは、今の内に、(下顎前歯の舌側まで萌出し、cross-bite となる前に) $\underline{A}$ を抜歯すれば、萌出中の舌圧により、ある程度自然に正常な位置まで移動する可能性がある。ついでに反対側の $\underline{A}$ も抜歯すべきである。歯根部に膿瘍が認められるし、 $\underline{1}$ が萌出を開始しているにも関わらず、現在までに萌出していないという事は、既に歯槽骨内で狂った萌出経路を辿りつつある事が、充分予想される。この様になった乳歯を後生大事に保存しておく理由は全くない。むしろ放置しておいた事に対する医師の過失責任さえ問われかねない。さらに言えば $\underline{B}$ $\underline{B}$ も後継永久

歯との交換状態を常に観察しておいて、適当な時期に抜去する必要があると思われる。何故なら、この様に残根状態となった乳歯は脱落が遅延し勝ちであるからである。乳歯抜去の時期としては、健全な乳歯の場合、歯根が約半分程度吸収された頃、失活乳歯の場合は永久歯根が、 $\frac{1}{3}$ ~ $\frac{1}{2}$ 位、形成された頃をメドとして行えば、永久歯の萌出が促進されるといわれている。それより極端に早ければ、歯肉肥厚などの為に、むしろ萌出が遅延する事もあるので、タイミングを見計らう必要がある。



図 4

図4 (6才女子) は、どうであろうか？
前歯部に乳歯の虫歯はみあたらない。この例に於ける永久前歯の舌側萌出は、必ずしも病的現象とは言い難い。全ての下顎永久前歯は乳歯の舌側に位置しており、それが次第に唇側へ移動しつつ萌出してくるのが、正常なパターンであるが、この例の様に舌側に離れすぎている場合も時々見かけられる。この様な場合、 $\overline{A}$ $\overline{A}$ を放置しておいてもなかなか脱落しない。これは、乳歯根の舌側半だけが吸収され唇側根が吸収されないで残っているためである。(図5)

この時期に $\overline{A}$ $\overline{A}$ を抜去すれば $\overline{1}$ $\overline{1}$ な舌圧に



図 5

より唇側に移動しながら萌出し、自然に正しい位置をとる。この抜歯のタイミングがずれると、1|1が、萌出完了後に舌圧を受ける事になり、唇側傾斜をするだけで、萌出途中の様には、うまく移動しない事が予想される。図6（15才女子）は、上顎犬歯萌出時に、唇側に萌出開始した為、4|4を抜去して、3|3を誘導した例である。上、下顎別個にみるとまあまあの歯列をしているが、上顎は、下顎より、小臼歯が2本足りない為、結果として切端咬合となっている。これでは、「木を見て森を見ず」の例え通り、片手落ちというものだ。小臼歯を抜歯する前なら、上顎を拡大するという様な事も考えられたかも知れないが今となっては下顎の小臼歯2本を抜歯して、上顎にあわせるしかない。咬合関係の全体像

を頭に入れておかないと、この様な失敗に陥りやすい。

以上挙げた例は、永久歯萌出期に、注意深い人為的誘導を要する例のほんの一部にすぎないが、いずれも考えさせられるケースである。

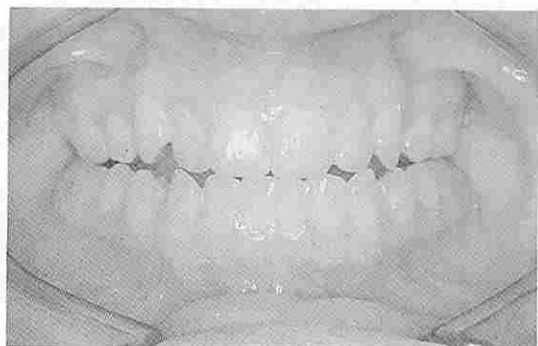


図 6

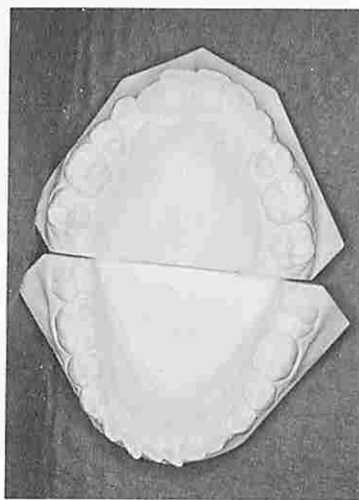


図 6''

第2回、日本接着歯学会に出席して

市学術 堀 川 秀 一

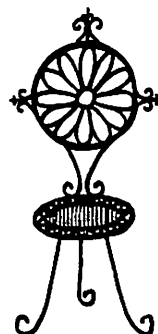
去る、3月17、18日の両日、東京医科歯科大学講座に於て、約200名が集まり、盛大に開催されました。

近年接着歯学への関心のたかまりは、めざましいものがあったように思われます。それは接着歯学が、合理的で能率的な新しい歯科医療システムの確立への道を歩んでいるからです。

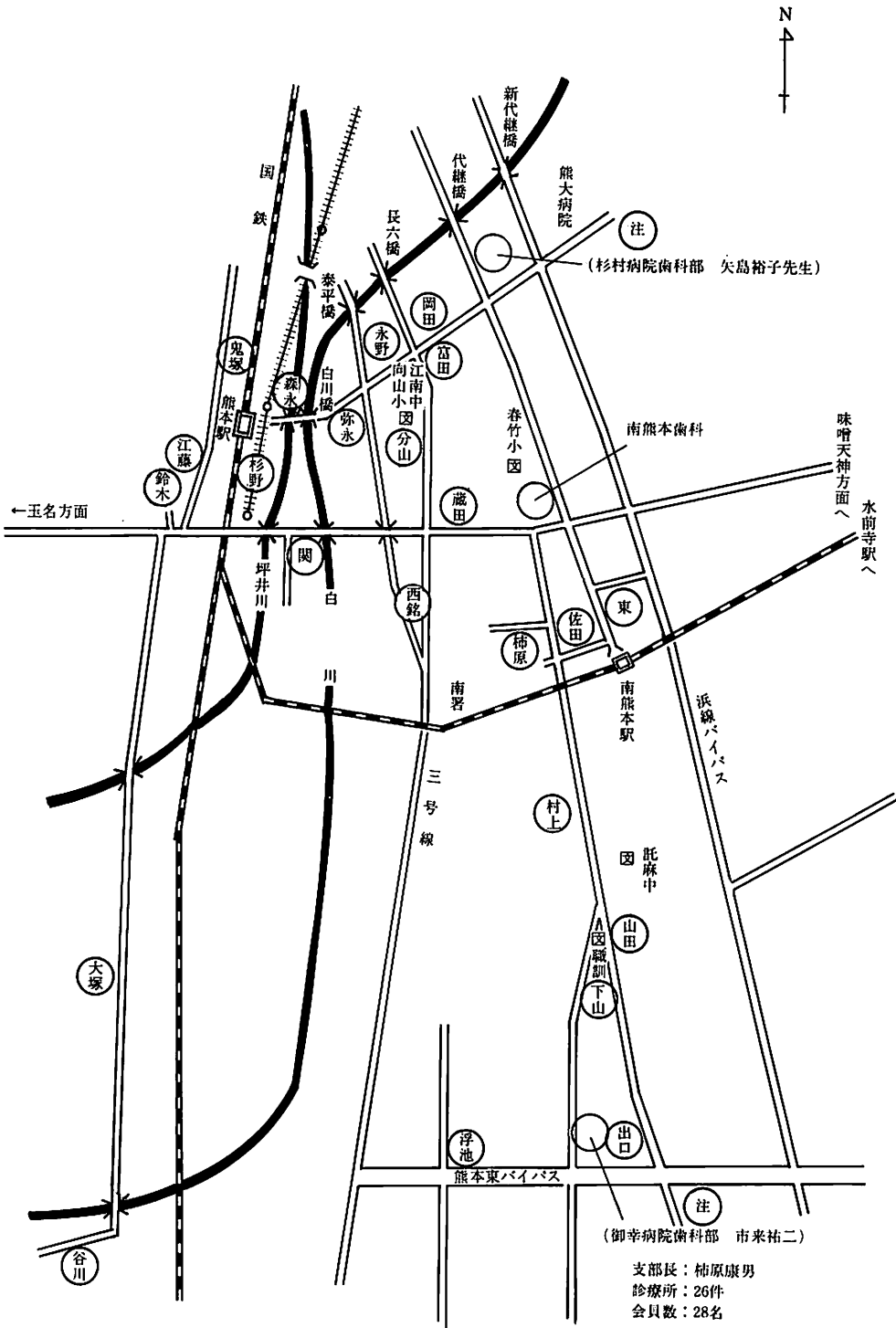
国内でも欧米でも新しい接着材料がつぎつぎに登場するようになりました。新材料の活用には、新しい観点と技術が必要なことは申すまでもありません。

「接着歯学は、歯学の未来への道を開くものであり、自由な発達のもとに新しい歯学の建設を進めたい」と。増原英一先生は申されまし

た。初めの一日は基礎的な研究発表が主体で二日目は、臨床的な研究発表が主体になり、各大学補綴学教室のアドヒジョン、ブリッジの研究発表のようでした。その中で唯一の開業医による発表者が何と本県の片山隆昭先生で「電解エッチング法による、接着ブリッジ及びスプリントの臨床」で人目を集め大変好評でした。午後のパネルディスカッションに於ても、山下敦（岡山大）熱田充（長崎大）増原英一（東医歯大）中村健吾（日本歯科大）井上昌幸（東医歯大）真坂信夫（東京開業）等の先生方に加わり「接着ブリッジをめぐる諸問題」をテーマとして、時間ぎりぎりまで熱心な討論が続き、有意義なひとときを過してまいりました。



会 員 配 置 図 南 部



新樹会インプラントの日常臨床に ついでに講習会開かれる。

浜 坂 浩

新樹会（田中聖一議長を柱に40才以下の会員100名のグループ）は3月24日土曜日我々国のインプラントの創始者である山根先生の門下生である田中重喜先生を小野田市からお招きして、近頃普及が広がりつつあるインプラ

ントに付いてその現況及びその実践における要点や問題点、要領をくったくのないうちあけた指導をしていただき、質問もとびかうなど盛り上り又懇親会もわきあいあいと行われ有意義な半日を過しました。



東部3天草1泊親睦旅行

添 島 正 和



東部3支部ではかねてからの懸案の会員新睦旅行をさる4月14日(土)、15日(日)に、天草松島へ一泊旅行を行った。参加者は会員数22名中、支部長の堀川秀一先生はじめ、今年中央支部から移られた最長老の渡辺太郎先生、山室、出口(瑞男)、菊池、宇都宮、松原、合沢、添島(正和)、管、山村先生の11名であった。

4月14日(土)の午後4時に京塚バス停に全員集合して旅館からの送迎マイクロバスに各自

便乗して、一路天草にむかった。バスの中ではさっそく合沢先生が用意した冷たい缶ビールで乾杯し、バスの窓から入るさわやかな風とのどかな景色に日頃の診療のストレスが吹きとんでしまった。楽しい二時間のバスの旅はあっという間に終り、目的地の松島の旅館竜宮荘に午後6時についた。

先生方はさっそく旅館の岩風呂で汗を流して午後7時からの宴会にそなえた。堀川先生並びに山室先生の挨拶にはじまり出口先生の乾杯の音頭で、懇親会に入り、新鮮な天草の味に舌づつみをうちながら、夜のふけるのも忘れて明日のゴルフや釣りの話に花が咲いた。



翌日は渡辺先生と管先生が釣りにいかれ残り8人の先生は終日ゴルフを楽しまれた。当日は風もなく絶好のゴルフ日和りに恵まれて診療室のイライラから解放された先生方は天草カントリークラブで青空のもと元気いっぱいびのびとプレーをされた。今回は強豪の甲斐先生が欠席されたために運良く、私がアウト42イン38のグロス80（ハンディ10）で優勝できた。表彰式を午後2時から行ったあと、釣り組みの先生と旅館でおちあい、天草をあとにした。

尚、旅館の御世話等に多大な御協力を頂いた松原先生に厚く御礼申し上げます。





新入会員紹介



氏名 西田 宗 剛

住 所 (自宅) 熊本市清水町新地1831 TEL339-0140

(診療所) 同 上 TEL338-8324

生年月日 昭和28年3月7日

趣 味 野道散歩(休日に子供と一緒に)

好きなことば 最小限の後悔で

経 歴

昭和52年 岐阜歯科大学卒業

昭和56年 九州歯科大学大学院卒業

家族構成

妻 留美子 昭和27年9月12日

長女 くるみ 昭和54年1月8日

長男 健 吾 昭和57年6月13日

氏名 御 任 弘 玄

住 所 (自宅) 熊本市春日3丁目6-36 シャトルアリタ102

TEL355-6824

(診療所) 熊本市新市街12-21 須美ビル2F TEL355-6861

生年月日 昭和29年9月2日

趣 味 写真 オーディオ

好きなことば 情熱があれば若い。

経 歴

昭和56年3月 九州歯科大学卒業

家族構成

妻 御 任 佳 代



氏 名 上 原 凡 由

住 所 (自宅) 熊本市水前寺 2 丁目 20-45 TEL384-4528

(診療所) 熊本市出水 1 丁目 4-1 TEL362-7150

生年月日 昭和29年11月22日生まれ

趣 味 サッカー、スキー、映画

好きなことば 根性

経 歴

昭和55年 九州歯科大学卒業

昭和55年 福岡、三吉歯科に勤務

昭和59年 // 退職

昭和59年 6 月 1 日 熊本市出水にて開業

家族構成

妹 上 原 真 理 昭和39年 3 月14日生まれ

氏 名 清 川 恵 治

住 所 (自宅) 熊本市尾ノ上 2-5-12 TEL385-2425

(診療所) 同 上 TEL385-2425

生年月日 昭和31年 2 月 3 日

趣 味 テニス

好きなことば 一生自分の歯で食べよう!!

経 歴

昭和57年 3 月 神奈川歯科大学卒業

昭和57年 5 月 林歯科医院(呉服町)勤務 ~昭和59年 3 月

昭和59年 4 月 開院

家族構成

妻 良子 昭和33年 1 月28日生まれ

氏 名 池 上 寛 雄

住 所 (自宅) 熊本市保田窪 1 丁目 9-53 保陽ビル101号

TEL(096)385-1850

(診療所) 熊本市花畑町 4-1 太陽生命熊本第 2 ビル 5 階

TEL(096)325-1776

生年月日 昭和23年 8 月 3 日

趣 味 英語、海外旅行、パソコン

好きなことば Dig one well well



経 歴

昭和49年 九州歯科大学卒業（22期）

昭和49年～昭和52年 鶴見大学歯学部矯正科

昭和53年～昭和55年 東京医科歯科大学小児歯科

昭和56年～昭和58年 タフツ大学歯学部矯正科

家族構成

妻 池 上 真 利 昭和27年11月2日

長男 " 明 彦 昭和58年7月26日

会 務 報 告

2/22～6/21

月	日	行 事
2	22	菅健一先生ご尊父様ご逝去 通夜 22日PM7:00～自宅 告別式 23日PM2:00～
	23	資格審議会
	24	厚生委員会 南部支部会（火の国）
	29	広報委員会 学術委員会（県と合同）
3	1	社保研修会
	2	学術講演会
	7	口腔衛生委員会
	8	監 査
	14	中央支部会（県2F）
	15	代議員会
	16	学校歯科委員会
	19	広報委員会
	21	厚生委員会
	22	総 会 理 事 会

月	日	行 事
3	28	社保委員会
	29	学術委員会
	30	臨時代議員会
4	⑧	補助者講習会（1回目・3Fホール）
	10	枋原義人先生ご逝去 通夜13日PM7:00～ 告別式14日PM12:00～ 島田葬祭
	11	厚生委員会
	⑮	補助者講習会（2回目・2F会議室）
	17	資格審議会
	18	医療管理委員会
	19	学術委員会 口腔衛生委員会（1F役員室）
	20	学校歯科委員会
	24	西部支部会
	25	理 事 会
5	18	口腔衛生委員会
	〃	学校歯委員会
	22	学術委員会
	23	医療管理委員会
	24	厚生委員会
	25	学術委員会
	26	学術講演会(救急蘇生法)
6	30	社保委員会
	7	学術委員会

月	日	行 事
	9	千場正昭・敏昭先生ご母堂様ご逝去 お通夜6/11PM 7:00~ 告別式6/12PM 1:00~ 豊住葬祭
	〃	歯の祭典
	10	〃
	12	資格審議会
	13	口腔衛生委員会
	14	厚生委員会
	15	広報委員会
	19	学校歯科委員会
	21	理事会

編集後記

うっとうしい雨空の毎日ですが、如何、お過しですか。

しかし、この梅雨も、日本の四季の流れの一つとして、
雨の風情を楽しむような、心のゆとりを持ちたいものです。

今度の広報委員会活動も、いよいよ3年目に入りました。

原稿その他、一層のご協力お願い致します。

広報委員会

熊本市歯科医師会会誌

第 48 号

発行日 昭和59年7月10日発行

発行所 熊本市歯科医師会

熊本市坪井2丁目3番6号

TEL (343) 6669

発 行 川 崎 正 士
責任者

印刷所 コロニー印刷

熊本市二本木3丁目12-37

TEL (353) 1291